

# 取組事例① 関係人口創出・拡大と町への新しい人の流れをつくる

(利尻町)

利尻町では、地域力を高め、維持していくために、縁故者やファン、都市部の企業に対するワーケーションの推進や、サテライトオフィスの誘致等を行い、関係人口の創出、拡大を図り、地域活力人口の増加を目指している。

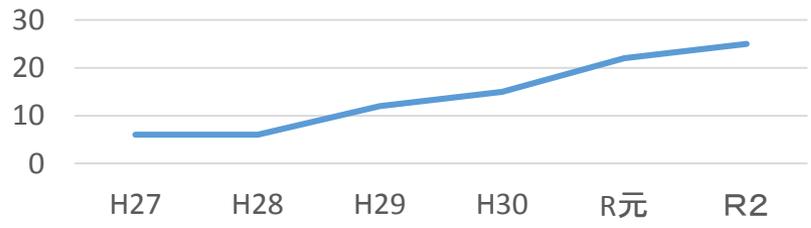
## 関連数値目標・KPI

	基準値 (R元)	実績 (R2)	目標値 (R7)	進捗率 (%)
ふるさとサ ポーター登 録者数	—	—	500	—

## 取組の推進体制

役場、NPO法人離島経済新聞社（東京都）、一般社団法人ツギノバ（利尻町）が適切な役割分担の下、官民の連携により関係人口創出・拡大や定住移住相談等の取組を効果的に推進している。

## 利尻町への移住者数の状況（第一期戦略）



移住者数は増加傾向にあり、第二期戦略の取組により更なる向上が期待される。

## 取組事例 関係人口創出、拡大

### 利尻町定住移住支援センター「ツギノバ」の開設

○2020年7月に、旧沓形中学校校舎を活用した利尻町定住移住支援センター「ツギノバ」を開設。町民の定住意向を向上させるための仕事や住宅、暮らしにまつわる定住相談や、町外・島外の移住希望者からの相談や移住するための窓口として、町民と観光客、ビジネス客等をつなげる交流拠点となるカフェラウンジやコワーキングスペース等を併設した施設。



### ワーケーションの誘致

○主な成果  
2020年8月～9月にかけて、東京都と石川県にそれぞれ本社機能を有する企業3社3名のワーケーション誘致を実施し、誘致企業からは非常に高い評価を得た。



# 取組事例② 空き家の活用による新たなビジネス創出と移住定住の促進

(津別町)

津別町では、「空き家・空き店舗対策」や「企業誘致や起業支援」、「移住定住対策」を挙げる意見が多いことから、官民連携で新たな雇用を創出するとともに、移住定住につなげる取組を推進している。

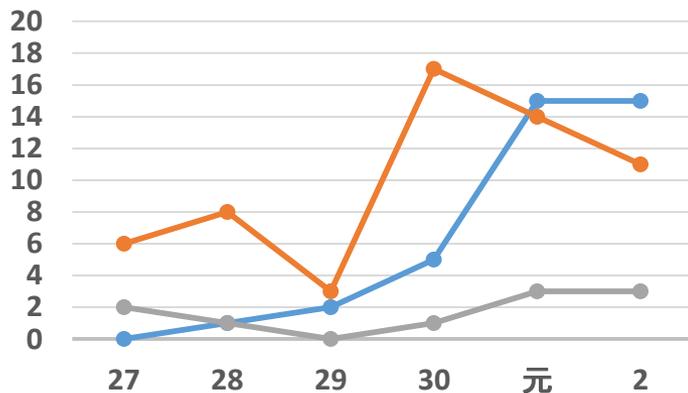
## 関連数値目標・KPI

	基準値 (R元)	実績 (R2)	目標値 (R6)	進捗率 (%)
空き家バンク 成約件数	0件 参考:15件	15件	50件	30%
新規事業者数	0事業者	3事業者	2事業者	150%

## 取組の推進体制

事業の実施主体は行政だが、北海道つべつまちづくり株式会社や道東エリアリノベーション・プロジェクト・イン津別実行委員会と協働で推進している。

**推移** ※橙＝移住者数、青＝空き家バンク成約件数、灰＝新規事業者数



空き家バンク成約件数、新規事業者数がH30年度を境に増加している。

## 取組事例 空き家利活用の促進

### 空家等情報登録制度の推進

- 主な取組
  - ・平成30年10月に空き家バンクHPをリニューアルし、まちづくり会社への業務委託により運営。
  - ・空き家と移住の情報をまちづくり会社の移住定住サポートデスクで一元化し、包括的に対応。
- 主な成果
  - ・空き家バンクでの成約数がりニューアル後に激増。



### 道東エリアリノベーション・プロジェクト・イン津別

- 主な取組
  - ・空き家利活用と新たな価値の創出するプロジェクトとして実施。
  - ・パイロット事業として「起業支援型コワーキングスペース」と「地域融合型ゲストハウス」を一般参加型のリノベーションワークショップで完成。
- 主な成果
  - ・上記施設で町内外の交流が生まれ、それをきっかけとした移住者や起業家も生まれている。



増毛町では、健診受診率の向上等と運動・食環境整備の両輪で“高血圧ゼロのまち”を目指している。

関連数値目標・KPI ※代表的なものを記載

	基準値 (R元)	実績 (R2)	目標値 (R6)	進捗率 (%)
前期高齢介護認定率	3.85%	3.93%	3.00%	△9.4
第1号被保介護認定率	23.16%	22.16%	22.20%	104.2
特定健診受診率	61.9%	57.4%	65.0%	88.3
健康ポイント達成件数	27件	184件	600件	30.7
ら・さんて利用者数	5,089人	3,622人	6,500人	55.7

取組の推進体制

役場福祉厚生課保健指導係、町民課保険年金係、健康運動指導士（委託事業者）、地域おこし協力隊が日本高血圧学会のアドバイスをを受け、企業版ふるさと納税を活用しながら進めている。

前期高齢者の介護認定率の状況

図1 前期高齢者の介護認定率が減少



<厚生労働省「介護保険事業状況報告 月報」より作成>

取組事例

効果の見える化(数値化)で成果を出す健康づくり



- 健診の取組  
仕組みづくりで健診受診率を向上 (H25:34.6%→H30:65.6%)  
※R1, 2はコロナの影響により低下
- 運動の取組  
健康運動指導士のアドバイスを受けながら、運動に取り組める運動施設「ら・さんて」を開設し、運動実施環境を整備 (H28地方創生推進交付金事業)
- 減塩の取組  
本町の海の幸に合う「減塩増毛醤油」を旗印に、減塩の取組を推進し、ナトリウム/カリウム比の測定等を展開 (増毛醤油は道内ラルズでも販売)
- 血圧測定の取組  
企業版ふるさと納税を活用し、家庭用血圧計の購入を助成 (R2は107台の購入助成)
- インセンティブの取組  
町商工会商品券と引き替えられる「健康ましけポイント」を導入し、上記の取組や、町行事への参加を促進
- 主な成果
  - ・前期高齢者の介護認定率減少 (H26:5.43%→R2:3.93%)
  - ・第1号被保険者の介護認定率減少 (H30:23.23%→R2:22.16%) R1より減少傾向
  - ・企業版ふるさと納税の活用 (R2:4社3,500千円の寄附受入)



今金町では、障がい者が活躍できるビジネスを育てる「ソーシャルタウン構想」実現のために、産学官が連携し、やさしく安全な地域づくりを目指している。

## 関連数値目標・KPI

	基準値 (R元)	実績 (R2)	目標値 (R6)	進捗率 (%)
養護学校 卒業生の 雇用(人)	2	3	5	60

※新規学卒者数

## 取組の推進体制

町、商工会、農業団体、社会福祉団体等が連携し、北海道立今金高等養護学校卒業生の地元雇用促進に向けた取組を推進している。

## ソーシャルビジネス支援の促進

○主な取組  
障がい者雇用を進める企業に対する、町独自の補助金を創設。



イチゴハウス

○主な成果  
町独自の補助金を活用した、民間企業によるイチゴハウス建設や農産物加工場整備により、障がい者雇用の安定が図られている。



## 取組事例 役場での就労体験

### 北海道立今金高等養護学校在学生に対する短期就労体験やインターンシップを実施

- 主な取組
  - ・在学中の2年生を対象に短期の就労体験を実施
  - ・在学中の3年生を対象に2週間程度のインターンシップを実施
- 主な成果
  - ・希望者は卒業後に町の会計年度任用職員として勤務
  - ・実務経験が活かされ一般就労へつながる

## 障がい者雇用の状況(役場関係)

- ・過去5年間の役場会計年度任用職員人数 2人
- ・過去5年間の役場一般行政職採用 1人

**令和2年度における  
北海道立今金高等養護学校卒業生の  
町内雇用人数7人(既卒者含む)**

# 取組事例⑤ 魅力あるまちづくり

(恵庭市)

恵庭市では、「空の玄関・新千歳空港」と「道都・札幌市」の中間に位置する地理的優位性を活かし、全国都市緑化フェアの開催誘致や外国人も暮らしやすく、住みやすいまちづくりなどの施策を通じ、市民が安心安全に住み続けられる魅力あるまちづくりを目指している。

## 関連数値目標・KPI

	基準値 (R元)	実績 (R2)	目標値 (R6)	進捗率 (%)
日本語習得支援ボランティア育成セミナー等への参加者数	0人	39人	100人 (5年間累計)	39.0
	基準値 (H30)	実績 (R2)	目標値 (R6)	進捗率 (%)
起案件数	42件	22件	70件 (5年間累計)	31.4

## 外国人も暮らしやすく、住みやすいまちづくり

### ○主な取組

- 「日本語を学びながら地域の人たちと交流がしたい」市内在住の外国人に日本語学習のお手伝いをするボランティア向けの入門講座を開講。  
(全6回のオンライン講座)



多文化共生のまちづくりを担う地域人材の育成を図る

## 取組事例

### 全国都市緑化フェアの開催誘致

#### ○開催に係る経過

- ・R元. 11 開催招致を表明
- ・R2. 6 基本構想策定
- ・R2. 7 開催決定
- ・R3. 1 基本計画案策定

#### ○イベントPRなど

- ・出展、協賛企業等の募集
- ・シンボルマークの決定
- ・市民による緑化フェアサポーターズクラブの活動



地理的条件を活かし、観光など交流人口を増加させる。



## 中小企業支援事業・起業家支援

### ○主な取組

- ・就職促進事業  
web合同企業就職説明会の開催
- ・起業支援事業  
開業するときの疑問や悩みを解消し、事業を成功に導くノウハウを学ぶ「恵庭起業塾」の開催



起業家支援を実施し働く場を創出する。



# 取組事例⑥ まちの特性を活かした産業振興と魅力ある雇用の場の創出 (室蘭市)

室蘭市では、基幹産業である製造業の生産性向上や航空機産業などの新たな産業軸の形成のほか、製造業に限らない多様な雇用創出に向けて、先端技術を持つ企業との連携を進めている。

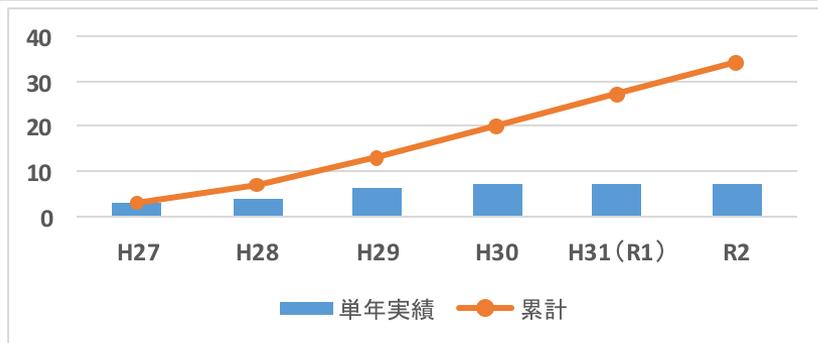
## 関連数値目標・KPI

	基準値	実績 (R2)	目標値 (R6)	進捗率 (%)
ロボット・AI・IoT等の導入による生産性向上や、新たな産業分野に取り組む企業数	—	4社	10社	40.0

## 取組の推進体制

市内企業による「室蘭航空宇宙産業ネットワーク (MAS-NET)」が設立されたほか、最先端技術を有する企業と連携協定を締結し、IoTを活用した地域課題解決をとおして新たな産業と雇用を創出

## 産業振興条例に基づく助成申請件数



企業の設備投資が安定して行われており、雇用の受け皿となっている。

## 取組事例 新たな産業への挑戦

### 航空機産業への参入支援

- 主な取組
  - ・室蘭航空宇宙産業ネットワークを構築し企業間の連携強化
  - ・航空機産業への参入を検討する企業に対して勉強会を開催
  - ・航空機産業への参入に必要な規格・認証取得や試作品製作に必要な経費の一部を補助
- 主な成果
  - ・航空機産業に参入する企業の増加



### 先端技術を持つ企業との連携

- 主な取組
  - ・パナソニックITS (株) の進出に合わせて、連携協定を締結
  - ・先端技術を活用して地域の課題を解決
  - ・地域の課題を新たな産業の創出につなげる
- 主な成果
  - ・持続可能な公共交通や廃棄物行政の構築に向けて、各種実証事業を展開



ICT技術を活用した室蘭MaaSプロジェクトの実施